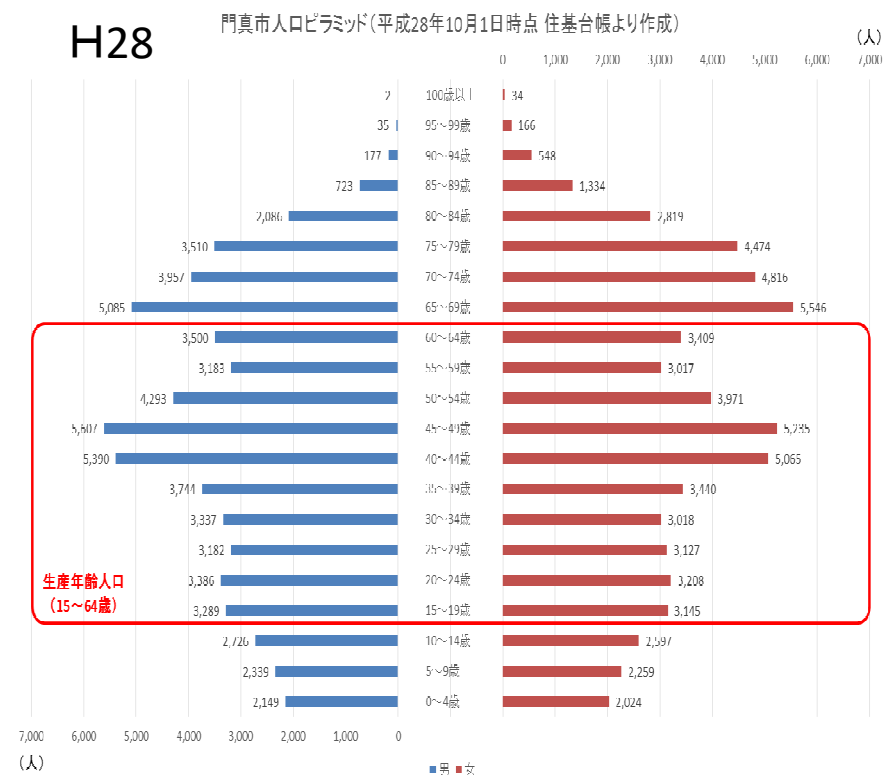
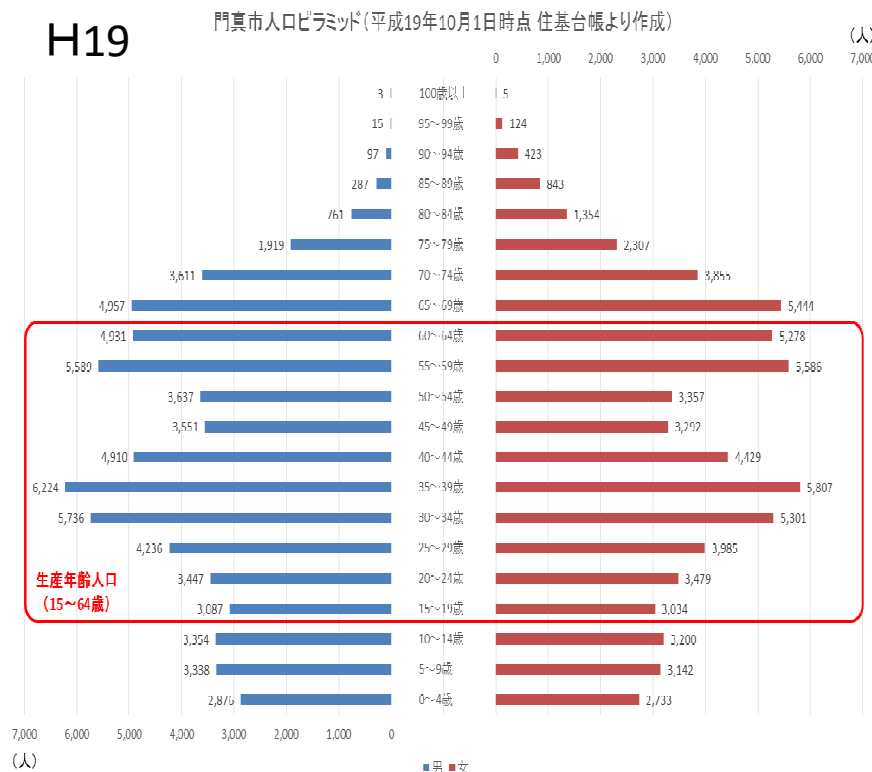


第1回総合計画審議会でのご質問に対する回答

参考資料6

- P1・・・(1)生産年齢人口(15～64)の推移について
- P2・・・(2)民間・NPOでの子どもの居場所づくりや、子ども食堂などの取り組みについて
- P3・・・(3)周産期医療について
- P4・・・(4)公園、水路、歩道の整備の進捗状況について

(1)生産年齢人口(15～64歳)の推移について



(2)民間・NPOでの子どもの居場所づくりや、子ども食堂などの取り組みについて

	名称	種類	運営者	開催頻度
1	ひまわり子ども炊き出し	食堂	社会福祉法人 向日葵福祉会	不定期
2	柳町園カフェでごはん	食堂	社会福祉法人 小百合園	毎週土曜日
3	タマリ場	食堂	特定非営利活動 法人ツナグ	毎月2回 月曜日
4	かどまふるさと食堂	食堂	あわてんぼうワ ンちゃん和ゆっ くりカタツムリ さんの会ステッ プ・ステップ	休止中
5	石原まちカフェ	居場所	門真市まちづく り研究所	毎月第3土曜日
6	わいわいこども食堂	食堂	門真子どもを守 る市民の会	2か月に1回程度 土曜日か日曜日
7	おかず食堂こども会	食堂	おかず食堂 こども会	毎月第3水曜日
8	ぶどうの子ども食堂	食堂	大阪キリスト教 社会館	毎月第4土曜日
9	宿題カフェ 中塚荘	居場所	NPO 法人 トイボックス	毎週金曜日
10	宿題カフェ パティスリーエルブランシュ	居場所	NPO 法人 トイボックス	毎週火曜日
11	宿題カフェ ハッピービーンズカフェ	居場所	NPO 法人 トイボックス	毎週火曜日 (予定)

(3)周産期医療について

ご質問の「周産期医療」につきましては、大阪府が策定している「第7次大阪府医療計画（2018～2023年度）」によりますと、妊娠22週から出生後7日未満にあたる周産期の時期が、この前後を含めた期間において、特に母体・胎児や新生児の生命に関わる事態が発生する可能性があるため、そのことに備えて、産科・小児科双方からの一貫した総合的な医療体制が必要であるとされております。

また、「第7次大阪府医療計画」において、周産期緊急医療体制として、ハイリスク妊産婦の妊娠・分娩管理及びハイリスク新生児の集中治療管理等への対応を目的とした医療体制整備に努めている旨が示されております。

具体には、大阪府では、二次・三次医療圏において、新生児診療相互援助システム(NMCS)に27施設、産婦人科診療相互援助システム(OGCS)に34施設が参加しており、合計36施設(重複25施設)の医療機関が、地域の医療機関の要請に応じて、重症新生児や母体及び胎児が危険な状態にある妊産婦を専門医療機関に緊急搬送し、適切な医療が受けられる体制を整備しているとなっております。

また、夜間・休日の体制として、府内を3地区に分けて、未受診妊産婦等の産婦人科救急患者を受け入れる病院を輪番制で確保するとともに、大阪母子医療センターの母体搬送コーディネーターによる搬送調整も実施されています。

一方、本市におきましては、妊娠届出時に、助産師や保健師による全数面接を実施し、妊娠・出産・子育てに関する心配や不安などをお伺いし、必要に応じて、安心・安全な出産を迎えていただけるよう、地区担当保健師による支援を行っており、支援においては、必要に応じて、産科医療機関との連携を実施いたしております。

(4)公園、水路、歩道の整備の進捗状況について

主な実施施策	達成度を測る指標	担当部署	平成20年度末(基準)	平成29年度末状況(見込み)	平成31年度末の目標
2) 下水道・水路整備と適正な管理	水路の有効利用延長	土木課	16.7km	17.3km	18.7km
2) 生活道路の整備	「門真市生活道路網計画」に基づく門真市道(私道を含む)の道路幅員充足延長	土木課	78.5km	78.5km	79.3km
1) 歩行者や自転車の道の整備	市道のうち自転車歩行者道がある道路及び自転車歩行者専用道路の延長	土木課	新設	2.34km	2.30km
1) 公園の整備	門真市が管理する公園・広場・緑地の面積	土木課	15.6ha	16.3ha	18.5ha

第5次総合計画の達成度を測る指標(抜粋)